

# バストス週報

第1638号  
昭和五十二年十月二十三日  
月曜日発行  
Director  
Koiti Mori  
Redator  
Shoho Miyatake  
Rua 10 de Novembro 882  
C. Postal 112  
Fone: 340  
CEP. 17690  
BASTOS  
E.S.P.  
Anual Cr. R. 150.00  
前金  
Adiant.

鶏鳴 42

## 老人福祉是非

○急殖する人口

世界の人口は今、四十億方ということだ。紀元二千頃、そうなると思っていたら、すでに四十億に手が届いて、五十億や六十億になるのは時間の問題だ。増殖するのには勝手だが、食糧は間にあうのか。食糧はブラジルが広い土地を持っているから大丈夫だ。冗談ではない。ブラジルは小麦が不足で外国から購入している有様ではないか。大豆だとセツカでもつづけば輸出どころでない。

人間は子を生むことができる。生れた以上生きる権利がある、というわけで、アフリカ新興諸国は物凄い急増振りだぞうだ。自国で処理できる間は、それでもよいが、よその国の援助を期待して「うめよ、ふやせ」でもあるまい。いや、アフリカのことなんぞ、どうでもよいが、吾々の故国日本を見て一寸おかしなことはないか、三十七万キロ四島に一億二千万もいて、三四年後には一億五千にもなるという。

ところが、食糧は、大半がアメリカ、その他から買入れるのだ。輸入力があるから、よいようなものの、アメリカだと毎年豊作がつかくものではない。他国の食糧をあてにして、金さえあれば、何とかかかると、という国策で人口増殖を眺めているというのには、考えようによつては、無茶としかいえない。国家としては米があまると困るのだから、国民に米を食べてくれろ、というんだが、国民の方が貧乏になつてしまつて、パン食だ、麵食だと騒ぎ立て、米ばかり食えるかい、というのが現代版だという。

日本の外に食糧を輸入にたよっている国も多いたろうが、そういう国は大に貧乏している。一つましかえは国連などを見てやればならぬ国も、ふえることだらう。

ところで、日本では何故人口が急殖するのであろうか。明治時代三千万の国民よ、と呼んで来たものが、百年たため間に一億三千万になつたんだから、どこか狂っているのではないだろうか。

### 老人福祉

最近の日本では、昔のように、やたら生めよ、ふやせよとは云わず、経済上から子供の将来を考えて二人か三人の子育てかせいせいだというから、生み放しの増加ではなく、高令人口が増えているのだという。五十五歳、又は六〇歳以上が老人で全国に八百方いる。老人といつても六〇歳以上七十歳になつても、まだ幼く意欲をもって居、ほんとに幼い人にも多いのだが、福祉政策のおかけで、いよいよ老人国家の観を呈し、男七十三、女八十五という高令者村会は世界一

## HOTEL PRIMAVERA

Rua Pres. Vargas 271, C. Post. 60, Fone: 92 Bastos. S.P.



毎度ありがとうございます  
御宿泊と御食事に  
御婚祝披露宴とその他御付出しに  
御家族連れのお楽しい御食事に  
日本料理とブラジル料理  
バストス名物料理  
毎本日は当店自慢の  
フエジョアード

御旅館 プリマヴェーラ  
ハートス市ブレンテンテ ヴァルカス街二七二

電話 九二二番

## FLORA BASTOS

T. MORIMOTO & FILHOS LTDA  
Rua Duque de Caxias, 524, C. Postal 171, Fone 29, Bastos

### 森元苗木本舗

電話 二一九番

農林省公認苗木専門農園  
並樹用樹シブルーナ等の苗木小あります  
赤松、黒松等日本松の苗木色々  
庭木用、鉢植用、盆栽用等色々  
蘭の苗色々、今流行のサマンバイア  
その他花の咲く木、バラ、ツツジ、椿、  
クリンマ、サツキ、藤、モクセイ、松、  
モクレン、ボケ、など色々  
果樹の苗木一切、改良品種  
を揃えてあります。

といわれる。その代り自身で寝たきり老人も、沢山居るわけで、本人の意志はどのようであつても福祉法が福利の面倒を見てくれるわけだから、勝手に消えるわけにはいかない。  
そういう連中が何も国家のために身を賭して尽して来たわけでもないのだから、福祉法では甲乙を区別しているわけはないから、寝たきり老人にもお粥を食わせ、医薬を加え、死ぬ迄面倒を見てやるのである。ブラジルにはアベシソ法というのがある。毎月一定の基金を納入し、六十五歳で隠居すると

アホセントライトになつたわけ、各人によつて金額はちがうが、最少賃金の半額から、大抵しては、何十何万クルゼーロスを毎月支給されるので、食うに困ることはない。その他、人によつては財産があるだろうし、金利があるだろうし、老手だからといって、大いばりだ。

私などは八十迫りだし、収入もあつたが、現存は八十五歳になつて見ると、もういかぬ。目はうすくなり、耳は遠くなり、おまけに足腰がひどくよわつて、ルアにも出られぬことになつてしまつた。頭腦の方は老老はせぬようだが、知人の名を忘れ、ブラジル語を忘れ、実に惨憺たる有様だが、不思議と日本語はよく覚えていて、毎週下手くそではあるが、文章のようなものを書いてみるか、これをやめたら一ぺんに恍惚になつてしまふと思ひかと思つてゐる。九十になつてもひくともせぬ人もあるが、八十歳そこそこでもホケル人もあつて、一様ではないか、ホケる人は実際に生産的には勿論だが、社会的にも、もう必要のない生物で、あんだ、もう必要がないから、消えてなくなれといえず、本人にもそんなわきまえもないのだから、自分で始末する力はない。(この編つづく)

糸音

狸の説法 62

捻じこまれた話

大戦が起ると日本からアメリカへ輸出していた生糸が止まつてしまつたので、アメリカは大困り、代用品をアルゼンチンに求めたらしい。アルゼンチンは、生糸を生産しておらぬので、商人がブラジルへ入りこんだ。ブラジルにはバストスにブラ拓製糸会社があり盛んに生糸生産をやつていたので、波によつた形で養蚕家が多乳をきわめた。バストス以外にも臨時製糸場が建てられた。

その頃カンピナスには州政府の蚕種場があつた。たか蚕種製造はして居らなかつたかと思ふ。カンピナスの技師がバストス産種に來て蚕種製造をすすめ、組合も時局を見てこのすすめに応じたものであろう。技師の指導によつて蚕種工場が新築され、組合員は大方桑を植え、蚕室を建て、忽ち全村蚕村となつてしまつた。一年経つたためうち、もう商が工場へ入荷しはじめた。その商から蠶が出、そこで蚕種が出来るわけだが、その蚕種を売品として外部へ出すには、病菌の有無を調べ、掃き立て日に揃つて発生させるために化学処理をしなければならず、その技術者は武田某という人で、日本で実家タネ屋であつたため、技術は確かであつたらしい。

その人は、カンピナスから技師がつれて来たものか、中島とかいう技師が世話をして産したもののか、始めから居た数の技術者に比うべ、極めて優秀なので、忽ち彼の野村が絶大なるものとなつた。

蚕種場担当の三野理事も彼には頭がよらず、彼は技師だけでなく、経理や人事にまで手を出してくるので、場内が騒然となつたのは無理もない。ここいらが彼の人徳の欠如を物語つてゐる点だと思ふのだが、その外女性関係でも評判が立つし、もつといけなはのは彼の

INSTITUTO DE OFTALMOLOGIA DE TUPÃ

Clinica e Cirurgia de Olhos  
Prescriçao de Óculos e Lentes de contato  
Rua Carljos nº 278 - TUPÃ - Fone 2903 SP

DR. ルイスカルロスアルベスネグロン

Dr. Isao Umino  
Dr. Luiz Carlos Alves Negrão

DR. 海野 勲

ツパン市電話二九〇三番



眼科専門

眼科一般 眼鏡の測定  
眼科手術 眼科整形

診療時間

日曜日と祭日以外は毎日

午前八時より十二時迄

午後二時より六時迄

IN P.S. 受付ます

○バストスの皆様へ

バストスへ出張が不可能になりましたので、御定見ですがツパン

診療所までおいで下さる様

お願い致します

ツパン市ツカワジノスニセハ

ロードビリアリオ前

乱費振りだつた。どこからそんな金が入るのか、誰も知つてゐる者はないが、そうなるかと、余計に噂にのぼるのである。蚕種場のことをいつか「伏魔殿」とよんだことか、もか、前記のような場内の空気にもそれか感じられるようだつた。

このまき放置しておけば、組合内の乱脈となり、信用にもかかわる。といつて誰が清正にのり出すか、そんな物好きはおらんし、力もない、というふうな時であつた。

玉木という養蚕指導員がいた。彼は養蚕学校出身で、蚕種の塩酸処理も知つて居るが、実地にやつたことかかないので、一度コツを習えは役に立つ男であつた。彼はリンス在で蚕種製造をして居る江田氏の許へ十日ばかり出張して習わせたらどうだろうと相談をするので専務に前述の経緯を話して承諾を願つた。

紹介状には、この玉木という者に塩酸処理法の実際を教えて欲しい、と簡単に認めて玉木にもたせてやつた。玉木は、うまくやつて帰つて来たつもりだつたが、江田がメーザにおいた紹介状を息子にとられてしまつた。息子はそれを持ってバストスにあらわれ、それを父に養蚕販賣人になつてしまつた。工場の理事や武田には組合の方でどういふ動きのあることを知り、専務に捻じこんで来たまうだつた。専務は、自分は知らぬと押し通したが、ゴム印であろうと版を押してある手前、調べて見ると言わざるを得なくなり、その捻じこみが、玉木と私の処へやつて来た。専務は養蚕理事にあやまりに行けという。よわつた

ことになつたなとは思つたが、専務に迷惑をかけるわけにもいかぬので、二人は夜、クルマで三野理事の自宅を訪問し、卒直に訃告を入れた。しかしよい機嫌でもあつたので、工場内の悪評について忌避なく突いておいた。

どうせ辞任するつもりだから、思い切つて武田の人物を評し、いつ迄もあんな男に従つて居ると、あんなの立ち場もおかしくなりすよ、と云うと、さすがに嫌な顔をした。

その内、場内硬骨青年二十人組の武田排斥運動が起り、専務暗殺事件が起り、半歳後には武田は病気で工場をやめてしまつた。

武田は聖市近郊で療養中だったが、倒れてしまつた。ツベルクローゼだつたという。あとで調べてみると、武田は蚕種の扱売りをやっていたのだという噂も出た。蚕種場自体も遠からず滅滅してしまつた。考えて見ると、バカな話である。(了) 糸音

連載小説 九回

バタアン死の行進

故火野葦平氏著

サドラーは安心したように、よく働いた。快活になつて、屈託なく笑い、冗談口をたたくようになった。彼は私たちの小隊に来た翌朝、しんみりとして述べた。「戦争以来、私は落ちついて眠つたことがない。捕虜になるまで不安をたまたまなかつた。しかし、昨夜は私にとって、はじめの安らかな晩であつた。」マニラへ連絡軍が出ると聞くと、サドラーは兵隊を呼びとめた。

「私は仲間にくらべて幸福でした。この小隊は私にとつてスリット、ホームでした。しかし、自分も近い内に捕虜收容所に入らねばならぬ身です。收容所に入ればからりと生活が変つてしまふでしょう。名残りにウイスキーをのみたいので、マニラで、ホワイト、ラベルを一本買って来てくれませんか。」

「どういふサドラーは懐中から、五〇ペソ紙幣をとり出して、兵隊に渡した。」

十二日、十四五名のアメリカ兵將校団が私たちの小隊を訪れて来た。どれもこれも巨漢であるのに、私たちは万例されたが、中でも中佐の肩章ある一人は七尺あるうかと思われる超々頼の大男だつた。彼らは快活によく喋りよく笑つた。この敗軍の將たるが大声を発して笑ひころげるのを見て、私は変な気持ちになつた。彼らは便所の位置を聞いて、交響で糞糞に行つた。サトラーが紅茶を熱くして、上官たちへ配つた。うさそうに飲んだ。中佐がいった。

「日本兵の捕虜は優遇して居る。負傷兵は病院に入れであるが、普通の兵卒は近づかせない。どうせ、今度の戦争はわれわれの負けに定つて居るから、われわれが捕虜になる日のことを考えて鄭重に取扱つたんだ。コレヒドルも早く降伏した方がよいのに、馬鹿な話だ。コレヒドル島から射つ砲弾が、とさどき山間に炸裂して、地面がふるう。中佐は通訳から日本語をローマ字で書いて貰つてい

る、「ミツヨクグサイ」「タベモノヨクグサイ」とれを幾度も練習する。これからの捕虜生活が動物的にたるための周到な準備らしい。この二つだけを知つて居れば生きられる。智慧者である。やがてトラツクが来ると、將校団は「サンキュ、ホイイズ」と、手をあげながら行つてしまつた。私は吹き出してしまつた。

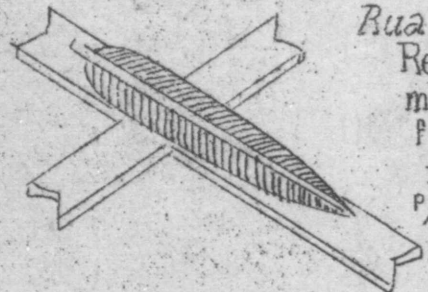
8 オラニ離民区

田園の中に、坵立小屋がすうりとならんで居る。天幕、毛布、テール掛け、カーテン、なんでも広い布は利用して屋根にした急造邸宅。何百軒あるか見当がつかない。何千かも知れない。屋根は雨よけでなくして陽よけだ。雨季はまだ遠い。連日、火のような太陽が照りつけ、煎りつける。この唐突に出現した部落の中や周辺に、何石とも知れぬ難民がうようよして居る。女、子供、老人が多い。いずれも生気のない顔色をして、動くのも大儀そうだ。死んだように寝そべつて居る者も、テントの中で、ホット、ホットという音がするのだけは、心で感じているのである。しかし、この悲惨な部落は、けげげげした原色と、花やかなアロハ模様によつて彩られて居る。しかし、絵具箱をひっくりかえしたような絢爛さは、滑稽感をいさなうよりは、腹立たしいまじさを感じさせた。

ここからすぐ前面に、この間まで戦場であつたサマツト山や、ナチフの連峯が望まれる。そして、部落から三のメートルとは離れていない本道上を、ここ数日來、朝も、昼も、晩も、蛇蝎とつづいて尽きない捕虜の

Organização Social de Luto A Regional de Bastos DE

HELENA SATIKO ICHIMURA 市村佐智子  
Rua Adhemar de Barros - 295, Fone - 361, Bastos S.P.  
Residencia no local, Faça Bastos crescer prestigionado seu commercio, agora sobre direção você proprietarios aparecido Periciano ribeiro e HELENA SATIKO ICHIMURA artigos funeraria tais como Cruz, Ossenko Ohihai Velas, P/umbando geral, corças em geral etc ----  
Atendem-se dia e noite, tambem pelo INPS e Funerual.  
Agradecemos para preferencia



葬具店 フネラリア サンペードロ

ガズリンポスト 後藤さんの向い側で営業して居ります。一般の葬具店の備品の外にサービスとして位牌、線香、コーソク、切花、花輪、ケルス等の儀式に必需品の奉仕致して居ります。昼夜営業して居りますから、夜分は電話で御用命下さい。インプス フニラール 受付致します。ルア アデマリ デ バーロス 295. 電話 361番

大群が、力のない足どりで行進して行くのが見える。炎天に灼かれながら、捕虜の隊列は遅々として進まない。思い思いの服装や姿勢で、勝手な行軍をしている。指揮をとる者は誰もいない。ただ、命じられた方向に、口もきかず、疲れきった身体を運んで行く。精神のない機械のように。或る者は立ち止まり、道傍にしゃがみこむ。また、歩き出す。炎天の陽炎につつまれて、弱りきった兵隊たちはときに亡霊のように見える。道路傍にへたばったまま、長く起き上らなかつたり、そのまま、二日も三日も動かぬ者もある。

私がオラニ難民區を訪問したのは、四月十六日であった。バタアンが陥落してから一週間目である。部落の中央で、炊き出しが行われていた。直径五尺ほどの鉄鍋に、お粥が炊かれ、二列にならんだ難民が碗匙と箸を手にして、出来あがるのを待っている。やかて、大きな柄杓を持った兵隊が、それ送る。大きな形の異なる食器へ、不公平のないように配る。湯気の立ちのぼる粥を分配する。

白人の布を巻いて、黒の長衣をまとっているファイリ人のかトリック牧師が天幕村の中央に立って、何かしきりに演説をしている。夕ガロク語なので、何をいっているのかわからない。しかし、衆集の表情は真剣で、しきりと相槌を打ったり、ときどき拍手をしたりする。あとで聞くと、こういうことを説明したことだった。

「ここでこんな間に合せの哀れな生活をしているのは戦争がかたすぎ、バタアンの中から兵隊か一人もいなくなってしまうまでのことだから、今しばらく辛抱しなさい。日本軍は、それまでどんな無理をしても、皆さんに毎日の糧をあたえる。皆さんが故郷へ帰る日か来たときには、日本軍では皆さんの故郷まで、汽車かトラックで送ってあげることにしている。日本人は、ファイリッピン人と同ヒアシア民族で兄弟であるから、けしてファイリッピン人に対しては、悪い取扱いはしない。安心して、先きを待つているかよろしい。」

「もし、この中に、米比軍に籍を有し、日本軍へ発砲した兵隊が、戦線から逃げ来て、まぎれこんでいるならば、すぐ出て貰いたい。すでに戦闘は終り、諸君の生命は保証されている。向うの道を捕虜の列が歩いていくから、その中に入って、オオドネルへ行つて貰いたい。この上、難民に迷惑をかけて欲しくない。」

この言葉で群衆の中から抜け出さず、すこすこと捕虜の行進の列に入つて行く者が数名あった。通訳が笑っていた。「ファイリッピン人は信仰深しから、坊主のいうことはよく聞きますね。バタアンから逃亡したファイリッピン兵がたぐさんあって、このテント村にも入りこんでいることはわかりきっているのに、憲兵などが来て、いくらか名乗り出るようにしても、一人も出て来たことはないのであります。オオドネル捕虜收容所まで歩いて行くよりは、ここにおいて徒食していた方がよいにきまっていますから。それなのに、坊主のたつた一言で、ああやって、素直に出て行くのですから、宗教というものは面白いです。」

ファイリッピンにおける回教と基督教徒との争闘は長い。クリスチャンにも旧教と新教との対立があり、西班牙統治によりカトリックのしみ込んだ比島人へアメリカがプロテスタントを移入しようとして、

御 礼  
一金五百クルゼイロス也  
右は、御母堂様の米寿祝として去る七月中旬に拝受致しました。当時に発表したつもりですが如何なる手落か発表していません。その非礼をお詫し、謹んで御礼申し上げます。  
バストス明老会  
亀田御一家様

御 礼  
金五百クルゼイロス也  
此の度御健康になられたお祝いとして前記の御寄附下さいました。厚く御礼申し上げます。  
バストス明老会  
元イヌビア在任現在オウルズ市  
藤 田 嘉 一 様

御 礼  
金 一 封 宛  
右は御母堂フジ様御他界の御り御供養の爲御進納下さいました。厚く御礼申し上げます。  
バストス南米本願寺  
バストス仏教婦人会  
永吉久男様  
次男へ

再度の訪日記 二十一回  
真水 真水  
五月二十六日十二時より公民館で故郷の役員の方々が送別会を催して下さった。此の公民館には縁が深いので、東京オリンピックの時建築中だったので、訪日中の私も少し寄附をしたので、私の帰前落成祝をして招待して下さい。その時の總代さんは、私の先輩越智林作氏であったが、少しの寄附を大変有難がり、私が東京から帰るまで落成式を持って居られたのであった。

此の度の總代さんは、林作氏の息子の節夫氏である。節夫氏も父同様、少の寄附を大変感謝され、歓迎会を別に催すとの事だったので、私を教老会がある事を聞いて居たので、私が教老会と一緒にの方がよいと、私から申入れて、一緒にしてもらったのであるが、又役員会で送別会をして戴き、誠に恐縮の至りであった。  
翌二十七日は、バストスの町で菓子製造をして居る野の道弘氏の妻孝子さんの里である藤村家へ招待され行つた。

藤村家へはオリンピックの時も招待されて行ったのであるが、今度行って見ると、家は見違える程立派に改装されてあり、見事な庭園が出来ている。庭木の中には百万円も二百万円する逸品があり、庭木の隅には素

晴しい鉢植、盆栽が並べてある。特に目についたのは満開の百鉢に及ぶつつじの鉢植である。あまり美しので、つつじを背景にお母さんの春子さんと並んで写真撮って頂いた。春子さんはまだお若いので元気であり、今度グロリア一匹の甥保政氏の妻京子さんの父、加藤最氏や、私の亡妻の義照夫君と甥の理の四人で私と一緒に訪伯される事になり、二十年振りに恋しい一人娘に会えると張り切っていたのであるが、加藤氏が血圧が高いので、息子達が心配して医師に診察を受けさせた結果、飛行機に乗るの危険だと言われたので、旅行手続までして居たのが、取り止めとなり、次々と全部取り止めとなったので、誠に残念であった。その夜は御馳走になり、一泊させて頂いた。

二十八日は道弘、保政兩氏の長兄克己氏の宅に息子や兄弟達が集り、盛大な送別会をして下さった。二十九日、三十日はお墓参りしたり、親戚友人全部の家々を廻わり、お別れの挨拶をし、名残を惜んだ。姉が抱きついて離れないのには、ほんとに困り果てた。三十一日は、愈々故郷へお別れをして今治市へ渡り、義弟の照夫君と、義妹の秋代さんが入院しているのにお見舞に行った。二人とも重病でなく、町へ出て一緒に歩いたのであったが、帰伯して二か月目に照夫君さんは亡くなられたと言う知らせがあった。まだ六十九歳であった。四十代で妻に逝かれ、男手で三人の子を育て、苦勞をし、まだ老い込んだ年でもないのに早逝され、気の毒な人であった。遠くの地の裏から御冥福を祈る次第である。

午後は波止浜造船所前で行っている甥の利四郎君が自家用車で長女の家まで迎えに来て呉れ、今治市の北西にある近見山の展望台に登り、国立公園中世界の公園と称せられる瀬戸内海国立公園の中心に位する来島海峡をはじめ、中度海峡の渦巻く潮流や小島、馬島、大島、大三島等の絶景を觀賞した。又、此の展望台の真下には中国と四国を結ぶ鉄橋を架ける台地が造られている。既に尾の道と前島間は完成して居り、大三島、伯方間も完成しつつある。近き将来、便利になる事であろう。

山を下りて波止浜造船所の見学に行く。利四郎君はこの造船場の技術長である。現在の造船界の不況にも拘らず、この造船所のみ経営を続けている。附近に沢山の造船所があるが、殆ど破産し閉鎖している。造船所の見学したのは初めてであるが、二十万トンのタンカーの船体は霞のかかる程の豪壮な雄大なものである。利四郎君のお蔭で良い見学が出来た。夕食を御馳走になり、長女の家まで送って頂いた。利四郎君は、高橋兄弟の末弟である。

翌日は桜井の加藤最氏が送別会をすると言って迎えに来られたので長女や姪達と共に行く事にした。加藤氏宅も藤村氏宅以上の庭園があり、立派な庭木や盆栽がずらりと並んでいる。日本へ来て一番羨ましく思ったのは立派な庭園を造って居る事である。日本人の風流を好む性質と、生活の豊かさか感ぜられる。夜は加藤家の兄弟三夫婦、敏明君夫婦等大勢で宴会が始まったが、皆美人揃いで唄う、踊る、剣舞をやるで賑やかであった。私もつり込まれて、昔々の流行歌を大いに唄って唄に入った。在日中最も愉快な酒宴であった。感謝感激で一杯である。

翌六月二日は今治市の中寺という所に住む亡妻の妹、村上春江さんの一人娘武田京子さんの家を訪問した。京子さん母娘に就いて、オリンピックの時に行った時のエピソードを述べた事にする。京子さんの母春江さんは、村上家入嫁した翌年夫が出征し、戦地で病歿したので、夫婦生活僅か一年にして若後となり、其後嫁家に居難くなり、京子さんを連れて村上家を出て、女子で京子さんを育てあげたのであるが、体があまり健康でなかったため、苦勞されたのである。

この春江さんと同じ境遇の娘が二人居る。それは高橋姉妹である。姉は入嫁した京子さんは福田家に嫁ぎ、妹は京子さんは宮崎家に嫁いだか、共に若後家となり、一人の女の子を苦勞して育てたのである。戦後の物資不自由の頃、女子で子供の養育は容易な事ではない。然も二人とも春江さん以上の病身である。此の不幸な三人の一人娘は皆結婚適齢期である。その外に尚親戚に三人のオールド、ミスが居る。病人の母の一人娘やオールド、ミスの良縁は仲々得がたい。これら六人の娘達に良縁を求めてやり度い急願が起り、出雲の大社に参詣した時六組のお守りと、縁結びの糸を拝受した帰り、日本に居る四人の娘に贈呈したのである。それは昭和三十九年十一月の末であった。その後春江さん母娘は大阪の石切と言う所に転居し、三月の維新句に私に賜わった御守と縁結の糸を雛壇に祀った。その夜京子さんの縁談が持ち込まれ、とんとん拍子に話が進み、私が親がわりとなり、目出度く結婚へとゴールインしたのである。

御礼広告

一、金一封也  
右は当会へ御寄下被れ有難く御礼申上げます  
一九七八年十月  
ブラジル西会バストス支部

藤田嘉一様

御礼

金一封也  
母上、永吉フジ様御不幸の旨右の御寄附を頂きました。紙上を以て厚く御礼申上げます  
バストスPL教団

永吉久男様

FABRICA de GRANITO  
Av. Rio Branco 74 C. Post. nº 23, Fone-21.1390, ADAMANTINA S.P.  
大西文吉  
大西石碑工場  
電話二二三九〇番

日本式及ブラジル式	墓 碑	石 像	石 燈	石 籠
石 彫刻類	胸 像	石 像	石 燈	石 籠
古い墓の修理	石 像	石 像	石 燈	石 籠
一切製作	石 像	石 像	石 燈	石 籠

1978年9月分バストスの気温と降雨量 ブラック製糸会社 測候部

項目	気温 °C	湿度 %	最高 気温	最低 気温	降雨量 m.m.	天候	雲量
1	18.0	79	25.0	14.0	5.0	E	5
2	24.0	64	29.0	17.0		N	5
3	25.0	58	30.0	15.0		E	
4	26.0	58	31.5	16.0		N	
5	21.0	70	21.0	16.5	6.8	N	9
6	21.0	80	27.0	15.0	25.0	N	5
7	23.0	63	25.0	17.0	2.3	N	8
8	19.0	89	22.0	15.0	11.0	W	7
9	22.0	43	25.0	8.0		S	2
10	22.0	55	28.0	9.0		E	1
小計	221.0	664	263.5	143.0			
11	24.0	50	29.5	8.0		S	
12	23.0	63	29.0	11.0		E	
13	22.0	63	29.0	13.5		E	3
14	23.0	63	26.0	18.5		N	5
15	22.0	80	26.0	16.0	29.0	W	7
16	25.0	73	29.0	17.0		E	3
17	24.0	64	28.0	16.0	23.0	E	
18	25.0	58	29.0	16.0		E	3
19	26.0	58	29.0	16.0		E	3
20	22.0	63	24.0	17.0		S	7
小計	236.0	635	279.5	149.0			
21	25.0	65	28.0	17.0	1.2	S	5
22	27.0	59	31.0	15.0		S	3
23	28.0	53	32.0	17.0		E	
24	28.0	47	32.0	16.0		N	
25	28.0	53	32.0	15.0		N	
26	28.0	47	33.0	16.0		E	3
27	28.0	47	30.0	17.0		E	2
28	23.0	56	28.0	18.0		N	6
29	25.0	45	31.0	16.0		N	
30	26.0	49	32.0	15.0		E	
小計	266.0	521	309.0	162.0			
合計	723.0	1820	852.0	454.0	104.5		
平均	24.1	29.4	28.4	15.1	3.4		

してためて結婚式の準備が間に合わないので、結納を納めお預りして帰伯したのである。

その後お守りや縁結びの糸を賜わった娘は次々と良縁が授けられたが、唯一人福田洋子さんがまた縁づいていない。それは、母マズエさんが常病人で、嫁入りする事が出来なかったためであるが、マズエさんは昨年、末七カ月の入院療養の末亡くなられたので、洋子さんは、今は一人身で、早く結婚する様に勧められていたが、必ず良縁が授かるかと信じている。出雲の神様の御利益があらたかである事は、この五人の娘の良縁で確信出来る。私は自分の祈願が成就した事を有難く感謝している。

京子さんの夫年数さんは船乗りで、家に居る事は少ないので、今日も留守である。年数さんとの間には長女明子ちゃん九歳、次女加寿子ちゃん六歳の二女がある。京子さんのお酌で一杯やっている、学校から帰った二人が私を見て大変喜び、加寿子ちゃんも私に今夜泊って行けと言っているので、何も考えずに「よしよし」と背いたのであるが、明後日は東京へ発つので、朝早く松山の飛行場へ行かねばならぬので、悠々として居る事は出来ない。午後三時過ぎタクシーを呼んで、長女の家へ帰ったのである。三日は買物をしたり、荷物の整理をしたりなどして、夜は今治市に住んでいる孫や甥や姪等全員集って別れの小宴を催し、別を惜んだ。その席で春江さんから、加寿子が、ブラシルのお爺さんは泊ると言っていて泊らなかつた。嘘つきだ、とぶくれていたと聞かされ、子供は正直だから、うかつな返事をするものではないと後悔したけれど後の祭りである。

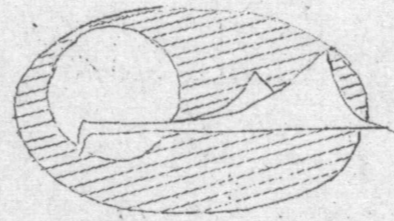
る。その夜は娘の家に寝るのも今夜が最後だと思つた。なかなかに寂付かれない。訪日以来の事が次々と思ひ、感慨無量である。一時を過ぎてから漸く眠れたが、五時頃の地震が目覚めた。

四日午前七時市内の親族一同が三台の自動車で行き、飛田に到着して見ると、故郷の人々は一番汽車で既に到着して、場内で互いに握手を交し、別れを惜んだ。やかて小雨の降る中を羽田に向つて飛び発った。濃霧で地上は全く見え方ない。羽田に着いて見ると、孫夫婦が既に迎えに来て居り、その車で明日集合するタイムモント、ホテルへ荷物を預けに行き、其夜は春日部市の孫の夫、藤井敬夫氏の宅で長女や、長女の長男照人、次男征夫夫婦で最後の小宴を催し名残を惜んだ。

六日午後一時、長女と孫連に送られて集合場であるタイムモント、ホテルに行く。明出発の成田空港へは、見送り人や歓迎者は入場させないので、此処で別れる事にした。其の夜はホテルでゆとり寝に就いた。七日、成田発は夜の十時なので、一日ボンマリとホテルで時間を潰すのも退屈だから、もう一度東京の見納めをして置こうと思ひ、団体の観光バスで市内の名所巡りをする事にした。次号へつづく

週報紙代値上げ御通知

来る十一月一日より以後お支払い下さる分は、今年分も含めて一カ年分  
二百三十クルセイロス



CIELMAR TURISMO LTDA.

シエルマール(毎日ツール)旅行社

春の訪日団体便日程御知らせ

日本でお正月

春は たくさんの花が咲き蝶は舞い、小鳥が歌た...  
人の心も和やかになる季節です。今から訪日の計画して見ま  
せんか？ 訪日の一さいの手続を当社が致します

日本航空 サンパウロ発 東京行

1978年 11月25日、12月7日、12月21日 1979年 1月4日、1月18日、2月1日、2月15日

1979年 3月1日、3月15日、3月29日、4月12日、4月26日

日本航空 東京発 サンパウロ行 (帰便)

1978年 12月5日、12月19日 1979年 1月16日、1月30日、2月13日、2月27日、3月13日

1979年 2月27日、3月13日、3月27日、4月10日、4月24日

バリキ航空 サンパウロ発 東京行 (往便)

1978年 11月20日、12月13日、12月20日 1979年 1月10日、1月24日、2月7日、2月21日

1979年 3月7日、3月21日、4月2日、4月6日、4月18日

バリキ航空 東京発 サンパウロ行 (帰便)

1978年 12月2日、12月17日 1979年 1月16日、1月19日、2月4日、2月16日

1979年 3月9日、3月23日、4月7日

訪日一切の手続きは当社が致します

シエルマール旅行社 バストス代理店

阪東清美

Rua 10 de Novembro-574, C. Post. 121, Fone; 116

(さあ行こう 日本観光 春の旅)

御案内

一九七七年度NHK紅白歌合戦映画上映

期日 拾一月六日(月曜日)午後八時より

場所 総合会館にて

○以上は 日本国外務省並に、NHK総局の共催とす

NHK 1977年

紅白歌合戦

実況映画

今年度は一晩限り

後援 バストス日伯文化協会

一九七八年拾月十七日

シエルマール

# 恩師の教訓

私のいけ花活動の半世紀余をいま振り返って、私ほど良い師に恵まれた人は少いと思う。その恩師から受けた訓えを書き残して置きたいと思う。

あれはたしか昭和三年頃のことであつた。故辻井弘州先生が私共の香川県高松市に於いてはじめて嵯峨流盛花親筆の講習会を開催され、私も聴講生として受講して居た。

或る日私に和綴の帳簿に諸先輩から伝授された秘伝とか、口伝を書き留めて所持していたか、それを辻井先生に見付けられた。先生はその帳簿を聞いて、私の書いたきた刀の字を見て居られるので、私にくこ、「先生、私はどうも生れつき思筆で、お恥しい次第です」という私に先生は、

「宮武はん、先れつき思筆も蓮筆もありまへん。字のうまい人はお習字を熱心にやうはつたかうや、お習字やうんと誰れでも字は下手や。華道の生花(古典)と書道とは同じや、熱心に疑つた人だけか上手になり、名人と言われようになりませうや、音楽やたら、音痴の人は駄目やし、絵画は色盲の人は、こりやも待古しやはつてもあきまへん。唯熱心に習つた人だけか、天才も天分もありまへん。唯熱心に習つた人だけか、能筆家で習わなかつた人か思筆や、いつからでも結構やか、今日から習字をはじめなれば、支那の朱子といふ人の言葉に「習字は今日不学而有来日」とあり、又、「少年思筆老筆成一寸光陰不可捨」と言はりますのどと。あれから五十年、今でも毛筆を持つと先生のお声よみかえつてくる

勝甫

## ARES GRAFICAS GRAFISUL LTDA

Rua Presidente Vargas, 353 - Bastos - SP.  
Antigo prédio do Bco. América do Sul.  
Atendemos pelo telefone - 281 e 282  
Impressos - Notas Fiscais  
Notas Produtoras  
Cartões de Visita  
Convite de Casamento  
Fichas de controle  
Qualquer tipo de impressos



Perfeição, rapidez, e bom acabamento  
Escrever que estamos funcionado com os maquinas modernos  
Automatico que qualquer tipo de impressos  
印刷機は最新式モデルの自動印刷機を又活字も全部新品を取り揃えましたので、印刷の鮮明と仕上の美しさは皆様に御満足頂けるものと自負して居ります。  
何卒御注文の多少にかかわらず御用命をお願い申し上げます。

### 高級印刷所

元南米銀行の建物にて営業  
各様式印刷物一切  
ノッタ フィスカール  
農産物出荷伝票  
訪問用名刺色々  
結婚式の案内状  
その他の印刷物  
お引受け致します。

### グラフィスール印刷所

### 移転御挨拶

私儀、此の度子供の勤務先きのサンパウロ市へ移転する事になりました。想い返せば半世紀近く住み慣れ、皆様のお世話になつて参りましたが、寄る年波、老いては子に従えのたとえもあり、やむなく子供の意見に従うことに決心致しました。永年の御恩に何等酬いることもなくお別れ致しますこと誠心、心苦しく存じます。何卒お赦し下さいませ。皆様お願い申し上げます。

お別れは際しましては、皆様方より過分なる御饗別を賜わり衷心より厚く御礼申上げます。

御出聖の節は左記の住所へお立ち寄り下されば幸と存じます。バストスの益々の繁栄と皆様の御多幸をお祈りしてお別れの辞と致します。

一九七八年十月二十日

鈴木賢二(二七)  
バストス市役所 様  
バストス南米銀行 様  
バストス婦人会 様  
バストス在住の皆みな 様

サンパウロ市ビラマテダジャバクラニニ番  
南米銀行の二階

### シッチオ売り度し

土地面積 十アルゲール  
住宅二棟、倉庫一棟  
蚕舎ノトボクメ52メートル瓦製材ブロック  
菜園 四アルゲール半  
ポン相畑三アルゲール千五百本内モロコチ九十本  
相橋販売許可地  
電カ15馬力 トランス フォルマトル付  
水道設備 井戸ポンプ付、カシタアグア、シベロ  
等一切完備して居ります。

### 売物

トラットール 昨年デホルマ済み、カレット・トンバクアデー。カルテラ  
マシン90本、ブランチン製、電動ケバ取機  
消毒用、初由ホンバジンゴ製タンキ、カレット付  
養鶏に最良の場所  
バストスサウデ区 冲山 知一



# 待望のバストス・ランシマリア街道 来る十月四日道路局長を 迎えて華々しく落成式

私たちの念願であったバストス・ランシマリア間の鋪設路が、来る十一月四日州道路局長を迎えて華々しく落成式が挙行されるという。

この道路完成により、バラナ州、マット・グロソ州との交通が至便となるばかりか、交易による利益に給すことであらう。

この道路完成により入口があつて出口のないバストスという汚名を返上することが出来た。

養鶏の産としてバラナからの飼料の移入、鶏糞の移出も容易となった。ともあれ、この道路は、吾々一世移民の夢の實現として欣快に耐えない。

## バストス託児所完成近し

この託児所建設の仕事は、アソシアソン、ヘネフィシエンテ、アソパウロ、アソファンシア、アソマヒの事業で、場所はルアは、ゼネラル、ソオゾーリオ街（フラ栢製の通り）にある元橋本製糸の蚕種貯の建物を前記のアソファンソンで買い取り、これをバストス託児所として改装中である。

このほどようやく食堂が完成した。この託児所では既に十カ月は前から現存に列るまで百二十人の児童に牛乳、ソップ、その他の給食を行つてゐるが、今迄は食堂がなかったため、他の場前を借りて給食をしてきたが、今回本格的な食堂が完成したので、この新食堂で給食する事になったという。

新食堂實際立派なもので、裕に三百人の児童のまかないに充分な炊事も出来るという。

この外便所でも、何十という水洗式便場が並んで居り、これからの設備として衛生に関するもので、常任の医者、医療器具等の購入しなければならず、その設備費も莫大のものであらう。

幼児の健康には衛生と医薬のみでなく、欠かせない設備に歯科医と、治療器具も忘れてはならない。

これらの設備と特別に幼児教育という大切な部門もあるが、これらを完遂するためには、只後期ばかりにたよつて居たのでは、完遂の日はいつの事か、

こうした大切な事業は公民一体となつて目的のために進捗する外、一般市民の協力が必要であることには言をまたない。

市役所では、これの完遂のために一般市民に充分の寄附を仰ぐことにするだろうというのであった。

こうしてわかバストス全市の道路の舗装と、上下水道の完備する日も、そう遠い将来のことではない。それらも、わかバストスをユートピアとして、他郷の人々から諷刺を贈られる日も、そう遠い将来のことではないだろう。

勝南

## 来週三十日付週報休刊

バストス週報社

ブラジルいけ花協会の諸流派とも今年はブラジル、日本移民七十周年記念として慶祝いけ花展示大会を日本から各家元及び花道使節を迎えて莫大の費用を投じて大会を催して居ります。私共の嵯峨御流でも、来る十月二十五日より日本華道総司前より華道学院長、華務長、宗務総長親下をお迎えして聖市で大会を催す事になつて居りますので、出聖中に付き、一週間の休刊致す事になりました。

勝南

## 売り住宅

木造住宅四軒・土地面積十八坪五〇×二十坪  
場所、南米銀行の裏側、住宅に一等地  
ルア マレシヤール フロリアーノ街

御希望の方は直接御来談下さい

委細一面談の上

セツソン サウレテ区

## 沖山知己



オフライン  
アウトメカニカ

皆様がお待ちかねでありましたボルクスワゲン車並びにコルセル車専門オフラインを御当地バストスへ特設開業して居ります。優秀なメカニクが腕を振るつて皆様の愛車を完全修理と調整で最高の性能を発揮することでありましょう。しかも修理費は奉付的安価で御用承つて居ります。モトールの入替えも致して居ります。

バストス市アウトルデバウ街二九五番地

アウトメカニカ

バスカル商会

電話一五六番

## Auto Mecanica BASCAR LTDA.

Rua Adhemar de Barros - 295, Fone - 156. Bastos S.P.

Agora em Bastos há um oficina que voce esperava que com mecanico especializada com VOLKUSWAGEN e COPCER, retifica de motores em assistencia preço modico Auto Mecanica BSCAR LTDA que você esperava um Auto Mecanica, Agradecemos Preferencia.

# HOTEL USAMI

Rua Pres. Vargas nº 376, Fone 22, Bastos S.P.

ロードビリアオリ

## ホテルウサミ



これがほんとうの牛肉のつまみ  
 極上等の牛肉を鉄板で焼き、その鉄板ごと  
 メーガへ持ち出し、鉄板の熱でジュークとまだ  
 焼けている熱い肉の味、これが本当の牛肉の  
 うまさだと、好評を頂いて居ります。

お宿泊は一番便利な本店を御利用下さい  
 新鮮な日本料理でも、ブラジル料理でもお好  
 に応じて居ります。

御家族づれの楽しいお食事には  
 御宴会、御会食に御利用下さい  
 バストス名物料理 御宴会のお付出しに

# NOSSA RELOJOARIA

Rua Adhemar de Barros nº 243, Fone, 154, Bastos S.P.



めかね専門部開設お知らせ

眼鏡部担当責任者 本田道弘

めかねの革命、新種プラスチック製レンズの  
 眼鏡は軽く、落してもこわれず、振かつきにくい  
 極からレンズかはすれることもなく、明るい、  
 等の利点が多い。御来店の上、実物を御覧  
 ください。

カラーテレビジョン

ステレオグラバドール

ポケット用小型電子計算機

写真機 シネ 8ミリ 撮影 映写機

幻燈器・高級陶磁器、銀器

各種時計 電子ライタ 宝石

ルア・アデマル・デ・バロス・ニ・一三番地

## 柴田時計店

めかね部 本田道弘

電話 一五四番

# Aviso de Cine Partos

(喜劇)

十月二十日(金)八時 二十一日(土)九時半 二十二日(日)九時半 映像と音楽に挑む奇藤耕一監督  
 松竹 和田アキ子 方とん平  
 総天 萩本欽一 南 沙織  
 然色 夢亭志ん朝

十月二十七日(金)八時 二十九日(土)九時半 三十日(日)九時半 監督 中村 登  
 松竹 東山千恵子 新劇舞台俳優  
 文芸 新 克剣 三島雅夫 然出演  
 大作 伴淳三郎 芳田伸介 武者小路実篤 原作  
 司ト

十月二日(木)九時半 三日(金)八時 四日(土)九時半 五日(日)九時半 監督 三隅研次 製作 若宮三郎  
 東宝 若山富三郎 関 口 宏  
 勝プロ 大木 実 松尾 嘉代  
 多シ 大瀧秀治 真山 知子  
 色彩 全員射殺の実録 (桜の代紋とは、桜のバツと家徽される警察署のことで、暴力団の伝説班である捜  
 査のことである) 直のことで、やくざ的発想で表現したものである。

十月十日(金)八時 十一日(土)九時半 十二日(日)九時半 監督 坪島孝  
 東宝 和田アキ子 夏 夕介  
 総天 山口百恵 サエトワイマ  
 然色 森 昌子 小林 丑星  
 携作品 鈴木ヒロミツ センタ・みつお

十月十七日(金)八時 十八日(土)九時半 十九日(日)九時半 監督 宮崎 晃  
 松竹文 中村雅俊 水谷 豊  
 学生提 浅岡ルリ子  
 携作品

## 思い出のかたすみ

浅岡ルリ子

お姉ちゃん  
 お手やわかに  
 和田アキ子  
 山口百恵  
 森 昌子  
 鈴木ヒロミツ  
 中村雅俊  
 宮崎 晃  
 水谷 豊